

関西聚 活動報告書

活動名:自然学習ゾーン整備

活動日:2019.4.28(日) 13:30~15:30

リーダー名: 伊東 俊廣

報告者: 伊東 俊廣

参加者:(一般参加者9人 美交工業 1人 スタッフ8人 合計18人)

スタッフ:大川 英登、上田 泰史、山本 勲、東川 惇、林 俊

小久保 広宣、伊東 俊廣、橋本 英莉(GSマスターで体験参加)

参加者 大人6名 子ども3名 合計9名

活動内容 :「カブトムシの飼育箱確認他」

1. カブトムシの飼育箱の幼虫確認 東川リーダー(全員参加)

事前準備:一輪車一杯分の堆肥を飼育箱まで運搬

飼育箱の中の古いホダギをどかし、幼虫を確認。

ホダギを戻し、用意した堆肥を追加して終了。

2. 調査活動

・昆虫調査:大川リーダー、橋本、一般参加は 1 家族 (3 名)

・草本調査:上田リーダー、一般参加は 2 家族 (3 名)

3. 植栽樹木の確認

4. 昆虫保護ゾーンの除草(午前、午後作業)

午前:山本リーダー、東川、林、小久保、伊東、一般参加は 1 名

午後:山本リーダー、東川、林、小久保、魚谷氏、一般参加は2家族(3名)

活動報告・感想など

自然学習ゾーン活動については、事前準備が必要のため、魚谷氏と打合せをしているが、急な予定変更を申し入れたため苦情があった。特に久宝寺からトラックや道具を借りることも多い為、十分な打ち合わせが必要。

今回の一般参加者は熱心な方や勉強している人がいて、全員がレッツ久宝探検隊と両方参加してくれた。図鑑持参の方、スマホで調べてくれる方など、これから期待したい。

昆虫保護ゾーンは、セイタカアワダチソウがかなり取り除かれた。また、クヌギ(アベマキかも)の実生が 2 本あり、様子を見てモッパちゃんの森へ移植したい。

昆虫保護ゾーンの作業をしていたら、通りかかった人から何をやっているのかと聞かれ、リーダーが自然学習ゾーン活動と関連させていろいろ話した。観察路が昆虫保護ゾーンの横を通っていることも興味を持たれている要因の1つと思う。